資料－１

平成１８年度　第１回東北地方整備局新技術活用評価委員〈議事結果要旨〉

○委員会の開催概要

・日　　時：平成18年６月２９日(木）１３：３０～１７：００
・場　　所：ハーネル仙台　２階　松島Ａ
・議　　事
１．平成１７年度　第３回委員会概要確認について
２．評価試行方式（事前評価）について
（１）高所法面掘削機による法面掘削工法
（２）ゲート機側操作盤診断装置
（３）ＫＮＢＢ工法
（４）建設機械遠隔操作システム
３．評価試行方式（試行計画）について
（１）３次元情報とαシステムによる情報化施工
４．評価試行方式（事後評価）
（１）斜風対応型防雪柵

○議事結果

１．平成１７年度第３回委員会概要確認について
第３回委員会の内容について確認を行いました。

２．評価試行方式システム（事前評価）について
高所法面掘削機による法面掘削工法（申請者：大昌建設（株)）、ゲート機側操作盤診断装置（申請者：システムテクニカル（株)）、ＫＮＢＢ工法（申請者：日本国土開発（株)）、建設機械遠隔操作システム（申請者：(株）大本組）の４技術について事前評価の審議を行った結果、４**技術とも安全性・耐久性・経済性等に問題がない**という評価を受け、**今後、試行**を行うことになりました。

３．評価試行方式（試行計画）について
３次元情報とαシステムによる情報化施工（申請者：(株）大林組）について試行計画（施工計画、調査計画）の審議を行い、試行現場を決定しました。、

【試行現場】
事務所名：森吉山ダム工事事務所
工 事 名：森吉山ダム本体建設第１工事（第２期）
施工箇所：秋田県北秋田市森吉及び根森田　地内

４．評価試行方式（事後評価）

斜風対応防雪柵について、事後評価の審議を行った結果、次回、継続審議となりました。